

理容師法施行規則等に基づく

理容店の

消毒方法



理容師のみなさんへ

平成12年9月から理容所での消毒方法は、感染症対策の充実強化の観点から血液媒介性のウイルスにも効果のある消毒方法に改正され、その後、平成22年9月に一部改正されています。

訪問福祉理容の場合は

1. 利用者が安心できるよう、常に衛生の確保(器具類の消毒等)に心がけてください。
2. 従業者が健康診断(結核・皮膚疾患等)を受けて、健康に心がけてください。
3. 店舗内とは異なるため、事故に注意してください。
4. 訪問福祉理容を行った「記録簿」の保存も考えましょう。

保管



水洗



消毒



洗浄



消毒の手順

1

洗浄

消毒する前に、器具の表面を十分な流水で洗浄します。

消毒する前に十分洗浄することが必要です。

1

流水で洗うだけでなく、こすり洗いをします。血液が付着している器具は、ただちに洗うことが大事です（スポンジなどを用いるのが良いでしょう）。

2

洗浄に使用したスポンジなどは使用後、流水でよく洗浄し、汚れのひどい場合は、エタノール水溶液（76.9%～81.4%・消毒用エタノール）または次亜塩素酸ナトリウム液で消毒します。

3

替え刃式かみそりのホルダーは、刃をはさむ内部が汚れやすいので、刃をはずして洗浄します。



2

消毒

A

かみそり(注)及び、かみそり以外の器具で血液が付着している、またはそのおそれがある場合の消毒は、次のいずれかの方法を行います。

(注) 頭髪のカットのみの用途(レザーカット)に使用するかみそりを除く。

煮沸消毒器による消毒

沸騰してから2分間以上煮沸します。



エタノールによる消毒

エタノール水溶液(76.9%～81.4%・消毒用エタノール)中に10分間以上浸します。



次亜塩素酸ナトリウムによる消毒

次亜塩素酸ナトリウムが0.1%以上の水溶液中に10分間以上浸します。



※希釈したら、すみやかに使い切りましょう。

B

前項Aの場合以外の消毒についても、次のいずれかの方法を行います。

紫外線照射による消毒

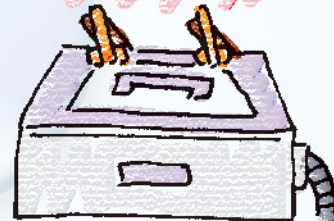
紫外線消毒器内の紫外線灯より
 $85\mu\text{W}/\text{cm}^2$
 以上の紫外線を
 連続して20分間
 以上照射します。



煮沸消毒器による消毒

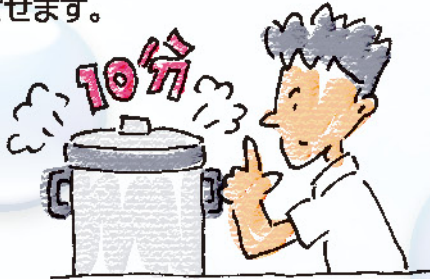
沸騰してから2分間以上煮沸します。

2分間以上



蒸し器などによる蒸気消毒

80℃を超える蒸気に10分間以上
 触れさせます。



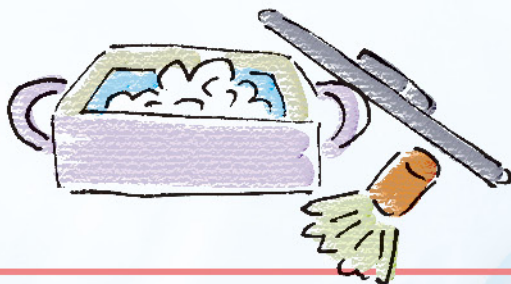
エタノールによる消毒

エタノール水溶液(76.9%~81.4%・
 消毒用エタノール)中に
 10分間以上浸す、ある
 いはエタノール水溶液
 を含ませた綿もしくは
 ガーゼで器具の表面を
 拭きます。



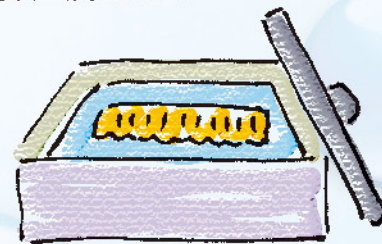
次亜塩素酸ナトリウムによる消毒

次亜塩素酸ナトリウムが0.01%以上の
 水溶液中に10分間以上浸します。



逆性石けんによる消毒

逆性石けんが0.1%以上の水溶液中に
 10分間以上浸します。



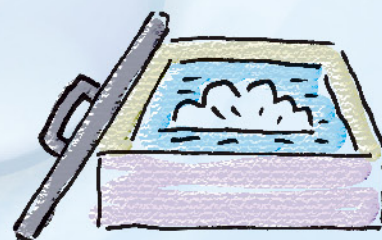
クロルヘキシジングルコン酸塩 による消毒

クロルヘキシジングル
 コン酸塩が0.05%以
 上の水溶液中に10分
 間以上浸します。



両性界面活性剤による消毒

両性界面活性剤が0.1%以上の水溶液中に
 10分間以上浸します。



3

消毒後の水洗と保管

- 1 消毒した後は流水でよく消毒液を洗い流します。
- 2 消毒した器具は使用済みのものと区別して、保管します。



4

その他の消毒方法

A タオル及び布類の消毒

- 1 加熱による場合は、洗剤で洗浄した後、蒸し器などの蒸気消毒器に入れ、器内が80℃を超えてから10分以上保持させます。
- 2 消毒液による場合は、次亜塩素酸ナトリウム水溶液に浸し、消毒します。消毒終了後は、洗濯をして保管してください。次亜塩素酸ナトリウム水溶液は、消毒作用のほか漂白作用もあるため、色物の消毒には適しません。
※血液が付着したタオル・布類は、廃棄するか、血液が付着している器具と同様の洗浄及び消毒を行います。

B 手指の消毒

- 1 お客様一人ごとに手指の消毒を行います。
- 2 血液・体液等に触れ、目に見える汚れがある場合、あるいは、速乾性擦式消毒薬が使用できない場合は、流水と石けんを用いて少なくとも手指を15秒間洗浄し、それ以外の場合は、速乾性擦式消毒薬を乾燥するまで擦り込んで消毒します。

その他シェービングカップ等の間接的に皮膚に接する器具類についても、その材質に応じ、以上に掲げた消毒方法のいずれかの方法により消毒をします。